

## 第3学年 道徳学習指導案

日時：2005年10月19日（水）

第5教時 13：25～14：10

児童：倶知安町立東小学校3年1組 22名

指導者：教諭 芳川卓巳

1. 主題名 「規則尊重・信頼友情」 4－（1）約束を守る  
2－（3）友情を大切にす

2. ねらい ◎約束を守る大切さを考える。  
◎話し合いを通して、よりよい判断・理由づけができるようにする。

3. 資料名 ジレンマ資料「2つのやくそく」（出典：五十嵐 悟）

### 4. 研究の視点に関わって

◎自己確立の場の設定に関して

資料の内容をしっかりとつかませ、自分が主人公だったらこの場面でこれからどうしようとするのが最善かをしっかりと考えさせたい。また、どうしてそう考えるのかの理由づけも行わせたい。自分の考えをしっかりと持った段階で黒板にネームプレートを貼り、自分の立場を明確にし、その理由の発表の時間を確保したい。この活動を通して自己確立の場を保證したいと考える。

◎共生・共創の場の設定に関して

自己確立後の交流の段階で、友達の考えをしっかりと聞き、その考えに共感し自分の考えを変えたり、自分の考えに自信を深めたり、さらに自分の考えを進化させたものとしたりさせたい。また、授業の最後に学習の振り返りを行い、影響を受けた友達やがんばっていた友達についてワークシートに書き、発表し合う活動も取り入れたい。このような活動を通して、学級内の友達同士が認め合い、共に学習していこうという姿勢を育てたい。

### 5. 児童の実態

道徳のジレンマ資料を活用した学習においての児童の実態は、自分なりの考えを持つことはできるが、その理由づけをうまく説明できない児童もいる。また、他の児童の発表をしっかりと聞き取ることができていない児童もいる。自分の考えと他の児童の考えを比べ、自分の考えに自信を持ったり、その考えに共感したり、考え方を進めたりするということもできていない児童もいる。そのため、一部の児童の発言に押し切られるようなこともある。しかし、お話を読んで、どうしたらよいかを考えることは、好きな児童が多い。本時においては、自分の考えをしっかりと持たせることと他の児童の考えをしっかりと聞き、自分の考えとどうなのかを比較検討させ、考えに自信を持ったり、考えを進化させたり、あるいは考えを変えたりという活動を期待している。

## 5. 本時について

### (1) 本時の主張

お父さんとの約束、たかし達との約束、この2つの約束を同時に守ることはできない。自分の不注意からとはいえ、こんな状況に陥ることは珍しいことではない。お父さんとの約束を破れば、自転車に乗れなくなる、たかし達の約束を破ればこれからの友達関係にひびが入りかねない。この状況の中、まず自分だったらどうするのかをしっかりと考えさせ、自分なりの考えを持たせたい。そして、友達の考えを聞く中でその考えに共感し、自分の考えを変えたり、またはより高次の考えへと進化させたりしていくことを期待している。話し合いを通して、この場面でどのように行動することが最も均衡化を図ることができるのかを見つけ出させたい。

### (2) 本時の展開

子どもの活動・思考の流れ	教師のかかわり
<p>約束って何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず守らなければならないこと</li> </ul>	<p>「2つのやくそく」という資料に入る前に、自分の経験をもとに約束について考え、資料に入るきっかけを作る。</p>
<p>いままでに約束を破ってしまったことがある？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との約束をやぶってしまった</li> <li>・親との約束をやぶってしまった</li> <li>・兄弟との約束をやぶってしまった</li> </ul>	
<p>約束を破ったときの気持ちは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し訳ない気持ちになった</li> <li>・悪いことをした気持ちになった</li> </ul>	
<p>約束を破られたことってある？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を破られた経験</li> </ul>	
<p>約束を破られた時の気持ちは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭にきた</li> <li>・訳を聞いて許してあげた</li> </ul>	
<p>資料「2つのやくそく」前半部分を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんと約束したことについてしっかりとつかむ。</li> <li>「自転車は1週間禁止」「1週間以内に乘ったら、自転車にはもう2度と乗れない」</li> </ul>	<p>資料を配布して、内容を確認しながら読み聞かせる。</p>
<p>資料「2つのやくそく」後半部分を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たかし達との約束についてしっかりとつかむ。</li> <li>「映画に行く約束」</li> <li>・今まさるがおかれている状況についてしっかりとつかむ。</li> <li>「バスが来るまであと5分」「バス停まで全力で走っても10分かかる」</li> </ul>	<p>資料を配布して、内容を確認しながら読み聞かせる。</p>
<p>自分がまさるだったら、このあと、どんな行動をとりますか</p>	

(1) たかし達との約束を守るため、お父さんと約束を破り、自転車で行く。

(2) お父さんとの約束を守り自転車に乗らない  
①映画館へ行くのをあきらめる。  
②遅れてもいいから映画館へ行く。

ワークシートを配布し、どちらかの考えかを選択させ、その理由についても書かせる。

書き終わったら、黒板にネームプレートを貼り、自分の立場を明確にし、お互いの考えを確認する。  
★自分の考えをしっかりと持ち、また、自分なりの理由づけを行おうとしている（自己確立）

それぞれの考えの理由について交流しよう

◎自転車に乗る  
・友達を大切にしたいから  
・後で話せばお父さんはわかってくれる  
・友達との友情を優先して考える。説得しやすいのはお父さんの方だから。  
・映画に行くのはあきらめるがバス停で待っているたかしに訳を話すために自転車に乗る。きっとお父さんはわかってくれるはずだ。

◎自転車に乗らない  
・もう2度と自転車に乗れないのは困るから友達との約束を破り、映画館へは行かない。  
・そのバスには間に合わないけれど、遅れてもいいから次のバスなどで映画館へ行き、訳を話す。  
・すぐにたかしの家に電話し、たかしのお父さんかお母さんに訳を話し、バス停まで伝えに行ってもらい。

一人ひとりの理由を発表させ、考え方の交流を図る。他の友達の考えを聞き、自分の考えと比較検討できるようにする。

★友達の考えをしっかりと聞き、自分の考えと比較検討している。  
★自分の考えと違う友達の考えも受け入れようとしている。  
(共生・共創)

友達の考えを聞き、考え方を変える場合も認めてあげる。

約束は破ってはいけないもの

でもこのような場面では・・・ どちらかの約束を破ってしまう

このような場面にはぶつかったら？

やむを得ず約束を破ってしまう相手に、どうして破ることになるのかをしっかりとわかってもらえるように行動することが大切！

今日の学習を振り返ってみよう。

・〇〇さんの考えで自分の考えも変わった  
・〇〇さんがすごくがんばっていたと思う。

・振り返りの学習プリントに本時を振り返っての感想を書かせる  
・友達の考えの素晴らしかったところや自分の変容、今日の学習の感想を書かせる。